

1. 目的：看護教育における実習の意義並びに実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるようになるに必要な知識、技術を修得させることを目的とする。
2. 開催期日：6～12月のうち、集合研修 21日間 ※このうち、eラーニング受講期間および詳細は受講者決定後通知
3. 開催時間：【集合研修】9：30～16：30
4. 定員：40名
5. 受講料：20,000円
6. 会場：【eラーニング】所属施設・自宅等インターネットに接続できるパソコンがある環境  
【集合研修】看護キャリア支援センター（佐世保市）
7. 講習科目の予定内容 ※申込書は、学校養成所へ別途お送りします

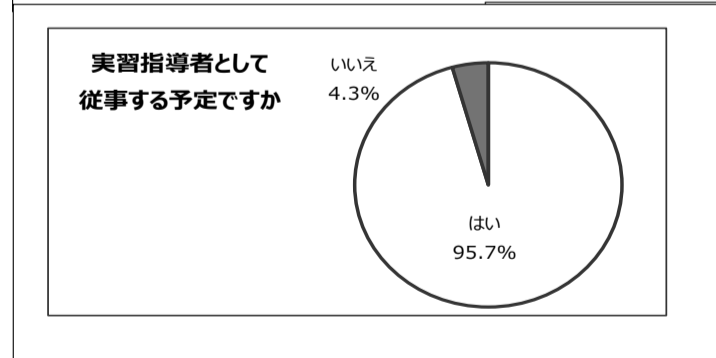
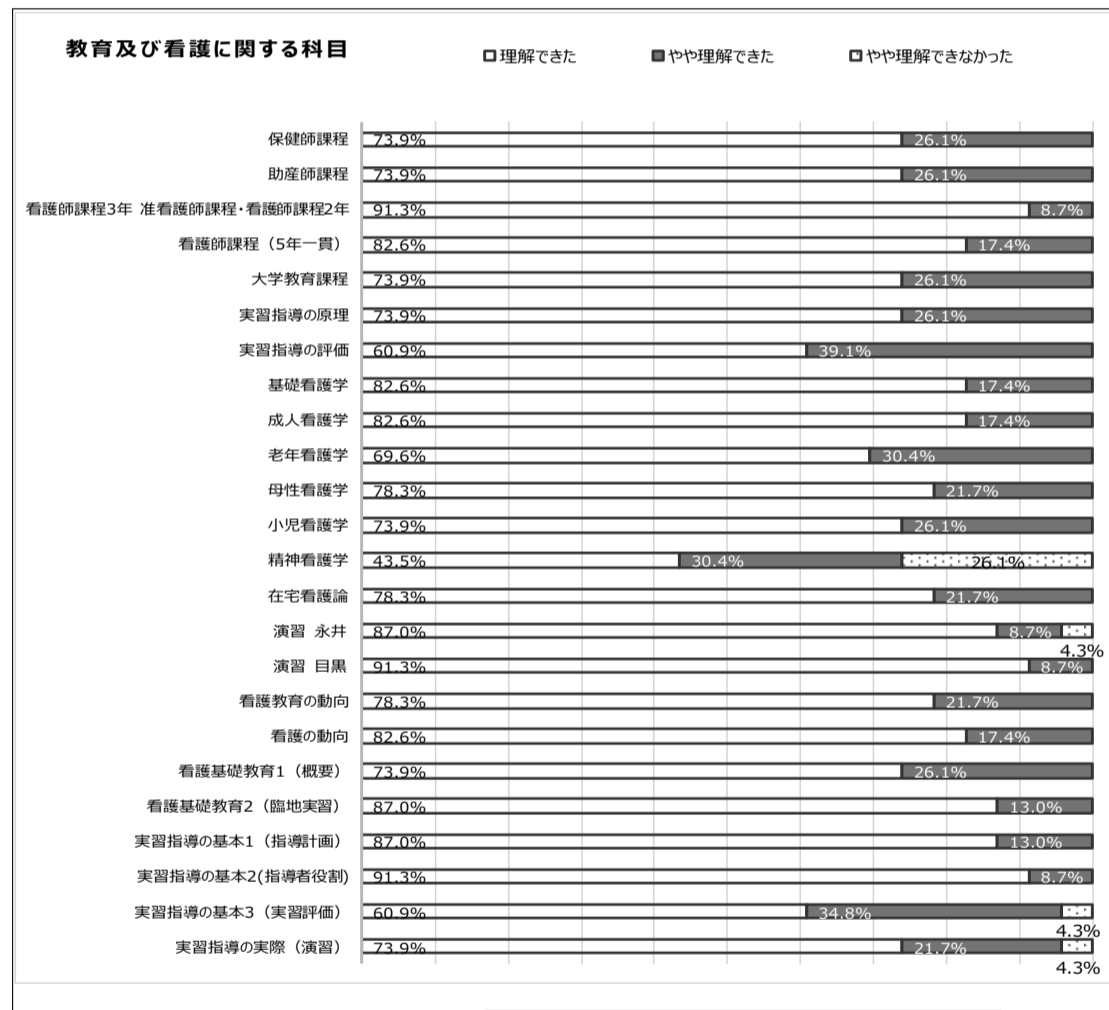
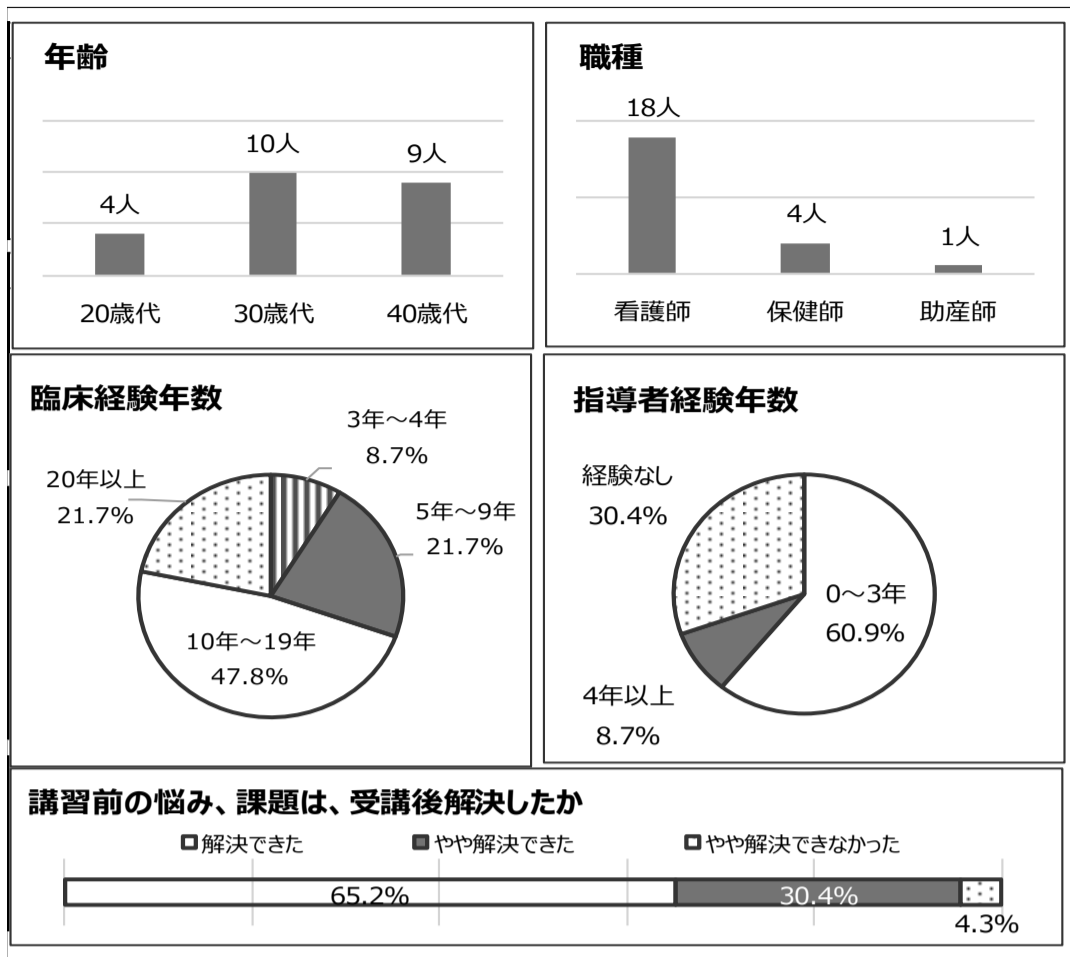
区分	科目	時間数	目標・内容	受講方法	受講期間
教育及び看護に関する科目	教育原理	15	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	eラーニング活用	6～9月
	教育方法	15	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・授業—学習過程の理解 等		
	教育心理	15	人間の発達と学習過程における心理的特徴についての基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等		
	教育評価	15	教育評価の基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等		
	看護論	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とそれの対応方法 等		
	看護教育課程	15	看護師等養成所の核教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 ・教育課程の基礎知識 等		
実習指導に関する科目	実習指導の原理	15	実習指導の基本と実習指導のあり方などについて理解する。 1. 実習の意義 2. 実習指導者の役割 3. その他	集合研修	11～12月
	実習指導の評価	15	実習における評価の意義や方法を理解する。 1. 実習評価の意義 2. 実習評価の方法 3. その他		
	実習指導の実際	15 60	各看護学実習の目的を理解し、具体的な指導方法について学ぶ。 実習指導の展開方法について、演習を通してその方法を理解する。 1. 授業デザインを作成し発表する。		

会場：長崎県看護キャリア支援センター（佐世保市平瀬町3番地1）

		9：30～11：00	11：00～12：30	13：30～15：00	15：00～16：30
11月8日	月	開講式（10：00）	オリエンテーション	特別講演	
			担当者	辻川 陽子	西村 伊知恵
11月9日	火	実習指導の実際（小児看護学）	実習指導の実際（母性看護学）	実習指導の実際（基礎看護学）	実習指導の実際（精神看護学）
		林田 リカ	佐々木 規子	三重野 愛子	堂下 陽子
11月10日	水	実習指導の実際（在宅看護論）		保健師過程	
		川崎 涼子		中尾 理恵子	
11月11日	木	実習指導の実際（老年看護学）		看護師課程・准看護師課程	
		河口 朝子		糟谷 操子	
11月12日	金	実習指導の評価（1）		実習指導の評価（2）	
		山澄 直美		山澄 直美	
11月13日	土				
11月14日	日				
11月15日	月	実習指導の原理（1）		実習指導の原理（2）	
		吉田 恵理子		吉田 恵理子	
11月16日	火	看護師課程・准看護師課程	看護師課程（5年一貫）	実習指導の原理（3）	
		糟谷 操子	内山 由美子	片穂野 邦子	
11月17日	水	実習指導の実際（1）		実習指導の実際（2）	
		目黒 悟		目黒 悟	
11月18日	木	実習指導の原理（4）		実習指導の原理（5）	
		高比良 祥子		高比良 祥子	
11月19日	金	実習指導の評価（3）		実習指導の実際（成人看護学）	
		山澄 直美		吉田 恵理子	
11月20日	土				
11月21日	日				
11月22日	月	実習指導の評価（4）		実習指導の評価（5）	
		山澄 直美		山澄 直美	
11月23日	火	勤労感謝の日			
11月24日	水	大学教育課程		助産師課程	
		永江 誠治		永橋 美幸	
11月25日	木				
11月26日	金	実習指導の実際（3）		実習指導の実際（4）	
		永井 睦子		永井 睦子	
11月27日	土	実習指導の実際（5）		実習指導の実際（6）	
		永井 睦子		永井 睦子	
11月28日	日				
11月29日	月	実習指導の実際（7）		実習指導の実際（8）	
11月30日	火	実習指導の実際（9）		実習指導の実際（10）	
12月1日	水	実習指導の実際（11）		実習指導の実際（12）	
12月2日	木	実習指導の実際（13）		実習指導の実際（14）	
12月3日	金	実習指導の実際（15）		実習指導の実際（16）	
12月4日	土	(発表会準備)			
12月5日	日				
12月6日	月	実習指導の実際（17）		実習指導の実際（18）	
		永井 睦子		永井 睦子	
12月7日	火	実習指導の実際（19）		実習指導の実際（20）	
		目黒 悟		目黒 悟	
12月8日	水	閉講式			

アンケート結果

回答数により、実際の受講者申込み数と違いがあります。



受講者数	23人
回答者数	23人
回答率	100%

**まとめ**

本年度よりeラーニングと集合研修の2部構成にて実施となるため、受講生の混乱を招かないことを目標として掲げた。集合研修開始前までにeラーニングの5単位全ての修得を必要としていたため、個人学習での取りこぼしが無いよう小まめな連絡を代行。単位未取得による研修中断するものは出なかった。テスト合格が必要のため修得までの猶予を考え、9月30日迄の処を10月15日まで受講延長の措置を取ったが、その結果受講生に余裕を与えてしまい受講そのものを10月に実施しているものがあった。反対に開始から数週間余りで単位修得に至る者もいて、効果的な学習方法ではないことが考えられた。次年度からは各科目ごとに期間を区切るよう進度表作成にて計画的学習へとつないでいく。

最終レポートに『教育に関すること』『指導の基礎になること』を学んだ『後の集合研修で意味が繋がった』等の意見が見られた。又、研修生が受講前感じていた問題の解決具合（解決・やや解決合わせて95.6%）、各科目の理解度（自己評価）の高さ（理解できた・やや理解できた合わせて94.4%）、演習の理解度（95.6%）の高評価の結果を踏まえ、今年度の学習に隔たり・混乱なく修了できたものと思われる。